

●同じ自転車に20年近く乗っているのだけれども、よほど調子が悪くならない限りメンテナンスをしない。ブレーキワイヤーが切れかかっているけども放置。チェーンが切れてコマ詰めしたら長さが足りなくなってしまう。最も軽いギアに入らなくなるという情けない状態に陥っても放置。千切れて役に立たなくなったトゥーストラップ（足をペダルに固定する帯）もブランブランしたまま。いい加減なんとかしなきゃなあと思って数カ月、やっと先日チェーンを交換した。それを機にストラップも新調し、ついでに小さくてブーツが入らなかったトゥークリップも大形のものに交換した。ようやくスッキリした！ と思ったら、今度はキャリアの金具がひとつ行方不明になっているのを発見……。あれだけで売っているようなものじゃないから、どこかで代替物を探さなければならない。面倒だ。

こんなことを書くと自転車乗りの風上にも置けないと怒られそうだが、別にいたいとも思わないので構わない。ただこの自転車には恩義があるからもう少しキチンと見てやらなきゃいけないなあとは思っている。（な）

●「奥州街道のうち、江戸初期に換線された部分」という物件を久し振りに発見し、さっそく机上調査を開始。しかし、調べれば調べるほど興味が薄れてしまった。今でも道として残っている部分は舗装道になっており、それ以外の部分は自然に還っているっぽい。つまり、いい具合で絵になりそうな「廃」が期待できないのである。現地を訪れて有無を確認する、という作業はとても重要なことなのだけれども、レポートにならない探索はできるだけ避けたいのが本音。 ガソリン代も高いしなあ。（つ）